

#### IV CSF（豚熱）への対応

令和元年9月13日、秩父市内の農場において関東地方で初めてCSF（豚熱）の発生が確認され、その後11月にかけて、県北部の合計6か所の農場において相次ぎ発生した。

当所では、9月13日に第1報を受けた直後から所内で対応策の検討を行い、時間的に地元保健所しか対応できないと判断し、防疫作業を行う県職員を対象とした健康管理業務を行う準備を進めた。直前になって本庁から派遣依頼の電話があり、健康観察に必要と思われる資材を車に積み込み、夕方には所長及び保健師2名で現地本部の体育館へ出発した。

現場では資材の搬入、健康相談ブースの設営、作業員への体温計や調査票の配布、説明などにぶっつけ本番で対応し、保健師は翌朝午前中まで徹夜で業務に当たった。翌日以降は保健医療政策課によるシフトが生まれ、全保健所による持ち回りとなった。

2例目の小鹿野町、3例目の本庄市の現地本部の立ち上げ時にも、資材搬入や手順の引継ぎのため、初日のシフトに当所保健師が加わった。

また、生活衛生・薬事担当の獣医師2名は、殺処分業務及び豚の予防接種業務に合計11回従事した。事務職員や薬剤師は防護服着脱に当たるなど総員体制で対応し、最終的に17日間・延35名（うち徹夜8名）の職員が従事した。

日ごとの従事人数と主な業務内容は、以下のとおりである。

従事月日	人数	従事場所	主な業務内容
9月13日(金)	4名	秩父市	資材搬入、設営、手順の調整、作業員への説明、健康管理、殺処分等 ※2名は翌朝まで、1名は翌昼間まで従事
9月14日(土)	4名	〃	健康管理、殺処分、防護服着脱
9月16日(月)	1名	〃	健康管理
9月17日(火)	6名	小鹿野町	資材搬入、設営、手順の調整、作業員への説明、健康管理、殺処分 ※2名は翌朝まで従事
9月18日(水)	1名	〃	防護服着脱
9月19日(木)	3名	〃	健康管理
9月20日(金)	1名	〃	健康管理
10月11日(金)	1名	本庄市・神川町	資材搬入、設営、手順の調整、健康管理
10月14日(月)	2名	〃	殺処分
10月15日(火)	2名	〃	防護服着脱
10月16日(水)	3名	〃	殺処分、防護服着脱 ※1名は翌朝まで従事
10月17日(木)	1名	〃	防護服着脱
10月30日(水)	1名	本庄市	殺処分 ※翌朝まで従事
10月31日(木)	1名	本庄市	防護服着脱

11月10日(日)	2名	深谷市	殺処分、防護服着脱 ※1名は翌朝まで従事
11月16日(土)	1名	行田市	豚の予防接種
11月18日(月)	1名	深谷市	豚の予防接種
合計 17日間	35名		